

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-011066

(43)Date of publication of application : 14.01.2000

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

(21)Application number : 10-175578

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 23.06.1998

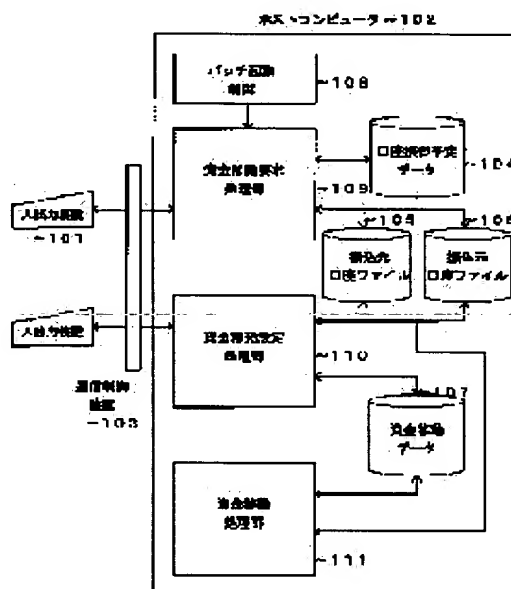
(72)Inventor : OGATA NAOMASA

(54) METHOD FOR CONTROLLING INTER-ACCOUNT FUNDS MOVEMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To decide a min. funds movement money amount after recognizing the funds usage and requested money amount of a transfer destination person by permitting a transfer source person to check the funds usage, the money amount and a message or the like which are set by means of the transfer destination person, adding consideration for funds raising and setting the actual transfer money amount.

SOLUTION: The transfer destination person inputs funds usage, the money amount and the message or the like through a consumer transaction facility by a funds movement request processing part 109. A funds movement setting processing part 110 displays the contents of funds movement request information (funds usage, the money amount and the message) as against the transfer source person who is registered by the transfer destination person in a transfer source account file 106 on a screen. The transfer source person retrieves balance information of one's present account and displays it on the screen after recognizing the display contents and the total value of plural funds movement requests or the like. The funds movement requests and the balance state of one's own account are considered, the funds usage of the respective request contents is checked, the propriety of funds movement is judged from the one with higher necessity and the actual funds transfer money amount is set.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-11066

(P2000-11066A)

(43) 公開日 平成12年1月14日 (2000.1.14)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 19/00

識別記号

F I

C 0 6 F 15/30

15/22

15/30

テーマコード(参考)

5 B 0 5 j

Z

Z

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号

特願平10-175578

(22) 出願日

平成10年6月23日 (1998.6.23)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 尾形 直正

神奈川県横浜市都筑区加賀原二丁目2番

株式会社日立製作所システム開発本部内

(74) 代理人 100068504

弁理士 小川 勝男

Fターム(参考) 5B055 BB03 CB09 FA01 FA07 JJ00

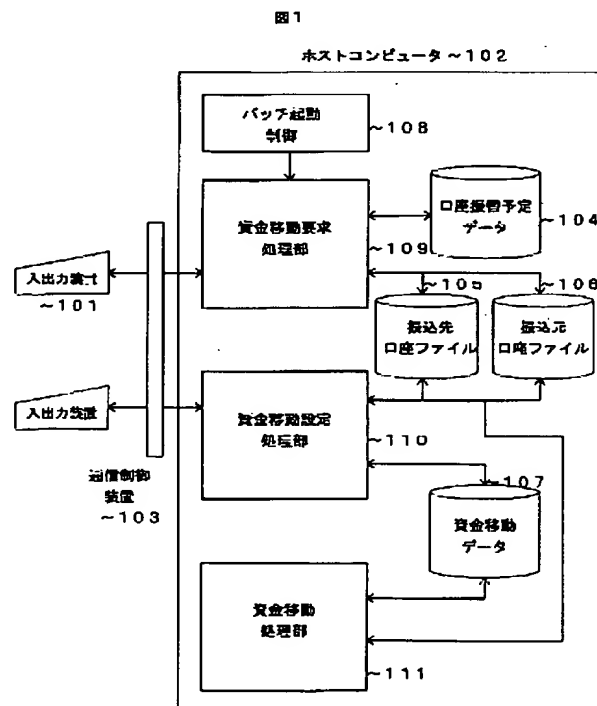
MM18 MM19

(54) 【発明の名称】 口座間資金移動制御方法

(57) 【要約】

【課題】口座間資金移動の場面(但し、決済のための資金移動を除く)において、振込元人と振込先人の調整に基づき、必要な金額を必要なタイミングで振込む仕組みを提供することにある。

【解決手段】本発明は、取引処理システムに対して、振込先人より自動取引装置を介して資金使途や金額、メッセージ等を入力する資金移動要求手段と、振込元人より振込先人の設定した資金使途や金額、メッセージ等をチェックし、資金繰りの配慮等を加えて、実際の振込金額を設定する資金移動設定手段とを備えたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】口座間での資金移動取引において、振込先人の指定する資金使途及び要求金額に対応して、振込元人にて実際の振込金額を確定する「資金移動要求・設定手段」を設けたことを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【請求項2】振込先人の保有する口座に対して、口座振替による資金引落とし予定があった場合、その口座振替に関連して、振込先人から振込元人に対して資金移動要求を行い、口座引落としの前又は後の時点で、振込元人にて実際の振込金額を設定する「資金移動要求・設定手段」を設けたことを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【請求項3】口座間での資金移動取引において、複数の振込先人からの資金移動要求に対して、資金使途別に請求金額を集計する等によって、振込元人からの資金移動金額の確定を支援するための機能を持つことを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【請求項4】口座間での資金移動取引において、月末等の定期的なサイクルで、通常振込先となっている口座から資金使途のない資金を、通常振込元となっている口座に対して、逆方向での資金移動をするための機能を持つ「資金移動要求・設定手段」を設けたことを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【請求項5】上記請求項4において、通常振込先となっている口座の側から、通常振込元となっている口座に対する資金移動を制限し、ある場合には移動金額を減額し、ある場合には資金移動自体を停止することを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【請求項6】上記請求項1ないし5のいずれか1項記載において、振込先人の指定に対して振込元人からの振込処理が一定期間なされなかった場合、あらかじめ振込元人の設定した最大資金移動金額等の条件に基づき、振込元人から振込先人への振込データを作成することを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【請求項7】上記請求項1ないし5のいずれか1項記載において、振込先人の指定に対して振込元人からの振込処理が一定期間なされなかった場合、あらかじめ振込元人の設定した方法に沿って、振込元人の処理を促すための通知機能を持つことを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【請求項8】上記請求項1ないし5のいずれか1項記載において、振込先人と振込元人間の資金移動に関する情報を、自動取引装置に対して入力する際に、当事者間での通知メッセージを合わせて登録しておくことにより、相手方に対してより具体的な情報を通知することを特徴とする口座間資金移動制御方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、振込元人と振込先人との間での資金ニーズ（使途及び金額）に応じて、振

込先口座に対する資金移動を必要最低限に保つとともに、資金使途のない残金を極力一つの口座に集中させることによって、顧客の口座管理を最適化し、有利な資金運用を実現するための、口座間の資金移動制御方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】口座間での振込振替に関する制御方法としては、振込元人ではなく振込先人からの端末操作によって逆振込を行うために、振込元人の利益安全や暗証番号等の秘密の安全を守るための方法が、特開平7-121638号公報に記載されている。また、口座の利用予定情報に基づき、利用者の口座状況を予測・通知することによって、自動引き落とし時の残高不足をあらかじめ防止するための制御方法が特開平6-259644号公報に記載されている。そのほか、顧客が自分の口座の残高を一定に確保できるように支払限度額を決定する制御方法については、特開平7-306901号公報に記載されている。

【0003】従来、単一口座における残高管理に関する技術が目立ち、複数口座間の連携によって残高管理を最適化するものとはなっていない。また、最初の逆振込を実現するための発明例の場合、振込先人側の端末操作によって処理を実現するために、振込元人が振替を承諾していることを確認するためのセキュリティー情報の入力が必要となっていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、口座間資金移動の場面（但し、決済のための資金移動を除く）において、振込元人が一方向的に振込金額を決定するのではなく、振込先人の資金使途や要求金額等を確認した上で、振込元口座の余裕資金等を勘案し、許容される範囲内での必要最低限の資金移動金額を決定しようとするものである。

【0005】また、月末等のある一定サイクルにおいて、振込先口座に資金使途のはっきりしない余剰資金が滞留している場合、上記と同様に振込先人の確認を得た上で、振込先口座から振込元口座に対して、逆方向の資金移動金額を決定しようとするものである。そのほか、振込先人に対する口座振替の請求があった場合、その請求情報を振込元人に対して通知し、必要となる振込金額の確定をしようとするものである。

【0006】本発明においては、上記の従来の技術に挙げた例のようなセキュリティー管理のための仕掛けを必要とするのではなく、振込先人と振込元人との間におけるネゴシエーションを効率的に実現するための仕掛けを提供することを目指したものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の目的を実現するために、取引処理システムに対して、振込先人より自動取引装置を介して資金使途や金額、メッセージ

等を入力する資金移動要求手段と、振込元人より振込先人の設定した資金使途や金額、メッセージ等をチェックし、資金繰りの配慮等を加えて、実際の振込金額を設定する資金移動設定手段とを備えたものである。この資金移動設定手段では、振込先人からの直接的な資金移動要求のほか、振込先人に対する口座振替請求に関する情報通知も受け、事前の資金補充や事後の資金補充や個人間清算のために、振込用のデータ作成機能を提供するものである。

【0008】また振込先人の口座に資金使途のない資金が滞留している場合、振込元人の口座に対して、通常振込先となっている側から、通常振込元人となっている側に対する、逆方向での資金移動（返戻）データ作成機能を持つ資金移動要求手段と、その要求内容を確認し、必要に応じて資金移動内容に変更を加える資金移動設定手段を備える。

【0009】

【発明の実施の形態】図1に示す通り、本発明においては、利用者（資金移動取引の当事者）が取引を入力し処理結果を受け取るための入出力装置101と、利用者からの要求に対して処理を行うホストコンピュータ102と、それぞれの間におけるメッセージ交換を制御する通信制御装置103から構成される。ホストコンピュータ102の中では、データベースとして口座振替予定データファイル104、振込先人（資金移動を要求する側の口座保有者）の口座情報を保有する振込先口座ファイル105、振込元人（資金移動をする側の口座保有者）の口座情報を保有する振込元口座ファイル106、振込元人から振込先人への実際の資金移動データを保有する資金移動データファイル107が管理される。

【0010】また、ホストコンピュータ内での処理を行うものとして、資金移動設定処理等のバッチ処理を起動するためのバッチ起動制御108、振込先人が、入出力装置101を介して入力した資金移動要求処理を行う資金移動要求処理部109、振込元人が入出力装置101を介して入力した資金移動設定処理を行う資金移動設定処理部110、振込元人が資金移動設定処理部110を介して設定した資金移動データに基づき、実際の資金移動取引を行う資金移動処理部111が含まれる。

【0011】振込先口座ファイル105と振込元口座ファイル106では、それぞれ振込先口座記録201と振込元口座記録202が管理されている。振込先口座記録201は、口座振替の際の振替金額や日付等（複数）を記録する口座振替予定情報記録部203、資金不足等に備えて振込を依頼する先の口座情報を記録する振込元口座情報記録部204、振込元に対する要求金額や資金使途等を記録する資金移動要求情報記録部205、資金移動要求等に対する振込元人からの回答等の伝達事項を記録する振込元口座からのメッセージ記録部206、及び当該口座残高を記録する残高情報記録部2

07から構成される。

【0012】また、振込元口座記録202は、口座振替の際に振替金額や日付等を管理する対象とする口座情報（複数）を記録する口座振替管理先口座情報記録部208、資金不足等に備えて振込を行う先の口座情報を記録する振込先口座情報記録部209、振込先からの要求金額や資金使途等を記録する資金移動要求情報記録部210、資金移動要求等に関する振込先人からの伝達事項を記録する振込先口座からのメッセージ記録部211、振込先に対する資金移動許容限度額をあらかじめ初期設定値として記録しておく資金移動初期設定情報記録部212、及び当該口座残高を記録する残高情報記録部213から構成される。

【0013】次に、本発明の第1の実施例の動作について、図1～図10を用いて説明する。

【0014】振込先人（振込元人に対して資金移動を要求する側）より、入出力装置101及び通信制御装置103を介して、ホストコンピュータ102に対して、資金移動取引の依頼を行う。入出力装置は、金融機関における自動取引装置（自動機）と同等のものと考えられるため、図及び以下の説明中においては、便宜上自動機と略記することとする。振込先人は、自動機取引開始後の最初の選択メニュー、又は他のメニューによる照会や引き落とし取引後の選択メニューにおいて、「資金移動要求」メニューを選択することによって、資金移動要求処理部109を起動する（ステップ301～303）。資金移動要求処理部109では、振込先口座ファイル105内の振込先口座記録201における振込元口座情報記録部204に記録された資金移動要求をする相手先の口座名義人、口座番号等を検索し自動機上に出力する。振込先人は、出力された情報内容を確認するとともに暗証番号を入力する（ステップ304）。

【0015】資金移動要求処理部109では、振込元口座情報記録部204をもとに暗証番号のチェックによって、振込先人の本人確認を行う（ステップ305）。チェックエラーとなった場合、あらためてステップ304に戻るものとする。本人確認後、振込先人口座の残高情報記録部207から現在残高情報を表示するとともに、振込元人に対する資金移動要求情報（要求金額、資金使途）を画面上のメニューに従いながら設定し確認を行う（ステップ306）。確認ができた後で、振込元人に対する伝達事項を振込元口座からのメッセージ記録部206に登録するとともに、振込元口座ファイル106の管理する振込元口座記録202の振込先口座からのメッセージ記録部211に登録する（ステップ307）。この後は、開始時と同様に、他のメニューによる照会や引き落とし取引に移ることも、自動機取引終了へ移ることも可能とする（ステップ308～309）。

【0016】次に、振込元人（振込先人より資金移動を要求される側）の処理フローを以下に記述する。自動機

取引開始後の最初の選択メニュー、又は他のメニューによる照会や引き落とし取引後の選択メニューにおいて、「資金移動設定」メニューを選択することによって、資金移動設定処理部110を起動するところは、前述の資金移動要求処理とはほぼ同様である（ステップ401～403）。資金移動設定処理部110では、振込元口座ファイル106の管理する振込元口座レコード202に登録された内容すなわち振込先人の登録した振込元人に対する資金移動要求情報（要求金額、資金使途）記録部210の内容、振込先人からのメッセージ記録部211の内容を画面上に表示する（ステップ404）。

【0017】このステップ404においては、複数の振込先人から資金移動要求があった場合、その全ての要求分繰り返し処理される。振込元人は、この表示内容、複数の資金移動依頼の合計値等を確認した上で、現在の自口座の残高情報を残高情報記録部213より検索し画面上に表示する（ステップ405）。資金移動依頼と自口座の残高の状況を勘案し、更にそれぞれの依頼内容の資金使途をチェックし、必要性の高いものから、資金移動要否を判断していき、実際の資金振込金額等を設定していく（ステップ406）。この後、資金移動要求を出してきた振込先人に対する通知メッセージを入力し、振込先口座レコード201内の、振込元口座からのメッセージ記録部206に登録して、「資金移動設定」処理を終了する（ステップ407）。この後は、開始時と同様に、他のメニューによる照会や引き落とし取引に移ることも、自動機取引終了へ移ることも可能とする（ステップ408～409）。

【0018】更に、バッチ起動制御部108より、口座振替予定データファイル104をもとにして、口座引落し予定となっている口座から、関連を持たせる別の口座に対して、引き落とし予定となっている旨を通知し、引落とし前、引落としNG後、引落とし終了後のいずれかのタイミングで、通知された口座側から、通知した口座に対し資金移動を可能とする処理の流れについて記述する。これは、口座振替予定となっている口座と、口座振替予定となっている口座に対し資金移動を行う口座の関係を、前述した振替先口座と振替元口座の関係に置き換えることによって、口座振替のための資金の補填や、口座振替後の個人間での清算を可能とするものである。

【0019】まず、バッチ起動制御部108によって、資金移動要求処理部109が起動される（ステップ501）。資金移動要求処理部109では、口座振替予定データファイル104から、引落とし予定となっている口座番号、引落日付、引落とし金額を検索し、当該口座の、口座振替予定情報記録部203にそれらの情報を設定する（ステップ502～503）。

【0020】口座振替予定となっている利用者は、自動機で「資金移動要求処理メニュー」を選択し、資金移動要求処理部109を起動し、バッチ処理にて登録された

口座振替予定情報記録部203から、振替予定になっているものを取得・表示し（ステップ505）、また振込元（資金移動要求先）口座情報記録部204から、口座振替に関連した資金移動を要求（通知）可能な口座情報を取得・表示する（ステップ506）。

【0021】その中から利用者は、通知の要否を確認するとともに、通知が必要な場合には、自動機画面上で通知先口座の確認を行い、複数口座が表示されていた場合、どの口座に対して通知するか指定や、登録されていない口座に対する通知が必要な場合には、通知したい口座番号の設定等を行う（ステップ507）。通知先口座が確定した時点で、口座アクセスのための暗証番号入力を行い、チェックOKとなった場合、次のステップに進むものとする（ステップ508～509）。次に、実際に要求する資金移動金額等のほか、通知メッセージを設定して、「資金移動要求処理（口座振替関連分）」を終了する（ステップ510～511）。

【0022】振込先人による「資金移動要求処理」の設定画面を、図6及び図7に示す。振込元人として、資金移動を要求する相手先を複数とすることも可能とするため、振込元人は複数表示可能とする。これらの振込元人には、振込先人口座レコード201の振込元口座情報記録部204にあらかじめ登録されたものが自動的に設定される。また、資金移動要求したい先が登録されていない場合に備え、振込元人情報の入力エリア601も設ける。振込先人は、いずれに対して資金移動を要求するかを選択キー602の押下によって選ぶ。その後は、暗証番号入力による取引可否チェックを経て、図7の資金移動要求設定画面にて、資金使途、優先度、振込要求金額のほか、振込元人に対する通知メッセージを入力する（701及び702）。

【0023】振込先人の資金移動要求に対して、振込元人が「資金移動設定処理」を行う際の設定画面を、図8及び図9に示す。図8は、資金移動状況を一覧した上で、個々の振込設定をする際の画面である。振込先人を複数とすることも可能とするため、振込先人は複数表示可能とする。これらの振込先人には、実際に資金移動要求のあったものについてのみ表示される。これは、振込元人口座レコード202の資金移動要求情報記録部210にあらかじめ登録されたものが自動的に設定される。振込元人は、いずれに対して資金移動を設定するかを選択キー801の押下によって選ぶ。

【0024】次に、図9の資金移動設定画面にて、振込金額の設定処理に移る。画面中の資金使途、優先度及び振込要求金額については、先述の資金移動要求情報記録部210内に、振込先人によって登録されたものが自動的に表示される。振込元人は、この内容を確認した上で、振込設定金額エリア901に金額を入力するとともに、通知メッセージエリア902に、振込先人に対する伝達事項を自由形式で設定する。図10に、振込元人に

よる振込金額の設定支援の画面を示す。本画面には、資金移動要求のあったものの内容一覧1001を表示するほか、振込元人が資金使途や優先度等の条件を指定するエリア1002を設け、当該条件での要求合計金額を所定エリア1003に表示することにより、最終的な振込金額の設定を支援する機能を提供する。

【0025】次に、第2実施例について記述する。上記第1実施例においては、振込先人から振込元人への資金移動要求と、振込元人による要求内容の確認と振込金額の設定処理を行う部分についての説明を行ったが、第2実施例においては、その反対の流れ、すなわち月末等のタイミングにおいて、振込元人から振込先人に対して逆方向の資金移動要求と、それに対する振込先人側の内容確認と資金移動金額確定の流れを説明する。

【0026】以下、振込先人から振込元人に対する逆方向の資金移動を、便宜上「返戻処理」と呼び、振込元人の振込先人に対する資金移動要求を「返戻要求」、振込先人の振込元人に対する資金移動金額確定を「返戻設定」とする。「返戻要求」は、振込元人が図3の流れに沿って資金移動要求を振込先人に対して送るものである。ステップ306の部分の処理は第1実施例と異なり、複数の振込先人に対して、資金の返戻を要求する条件を設定する。図11に返戻要求設定画面を示す。

【0027】振込元人は、画面上の1101～1103のエリアに、「いつの時点において」「残高がどのような条件」の際に「残高がどれだけになるような資金移動を要求するか」を設定する。「返戻設定」では、同様に図4の流れとほぼ同様の処理を行うがステップ406において、返戻要求に応じるかどうかの設定、応じる場合には、残高が幾らになるような資金移動を行うかを設定する。図12に、返戻設定画面を示す。振込元人は、画面上の1201に返戻要求に応じるかどうかの設定をし、1202のエリアに、「いつの時点において」「残高がどれだけになるような資金移動をするか」を設定する。

【0028】上記の第1実施例及び第2実施例において、資金移動要求と資金移動設定までについて説明したが、資金移動要求までおこなったまま、次の資金移動設定のための操作が振込元人又は振込先人によって行われない場合への対応について記述する。対応方法の第1としては、振込先人からの資金移動要求に対する応答が遅れる場合や個別に資金移動金額を決定する必要性を持たない場合（固定的な金額にしておき、変更の必要が生じた場合のみ個別に金額を設定したい場合等）に備え、振込元口座レコード202の資金移動初期設定情報記録部212に、あらかじめ個々の振込先口座に対する資金移動許容限度額を登録しておくことによって、振込元人の確認を省略して、資金移動データを作成することを可能とする。

【0029】次に、対応方法の第2として、バッチ起動制御部108によって起動される資金移動要求処理部1

09によって、定期的に振込先口座ファイル105及び振込元口座ファイル106をチェックし、相手先からの資金移動要求情報記録部205（振込元人からの要求）及び210（振込先人からの要求）に、それぞれ要求に対する応答済／未済のステータスを保有し、未済の場合、資金移動要求に対する応答要求のメッセージを作成し、相手先からの取引がある度に当該メッセージを出力して応答を促すほか、メールを自動的に作成して郵送することを可能とする。

【0030】

【発明の効果】本発明の実施により、振込元人と振込先人との間において、基本的には振込先人側の資金需要に対応した資金移動を円滑なものとすることができるとともに、振込元人の側で必要性の乏しいと判断した資金移動については、事前にストップをかけることが可能となる。複数口座間での資金移動を、生活の必要性に応じてきめ細かく実現することで、様々な口座に中途半端な資金が滞留し、各口座において抑制のない無駄遣いをしたり、結果的に不利な資金運用をしたりするのを避けることが、本発明の直接的な効果と考えられる。また、本発明の仕組みを提供することにより、口座に対する考え方が変化し、一つの口座にあらゆる機能を集中するのではなく、複数の口座にそれぞれの意味や目的を持たせた活用法等の可能性が高まるものと考えられる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例における資金移動要求・設定方法の概略構成を示すブロック図である。

【図2】図1のホストコンピュータ内において、記憶されるレコード情報の概要を示すブロック図である。

【図3】本発明の実施例における資金移動要求を行う際の、操作の流れを示すフロー図である。

【図4】本発明の実施例における資金移動設定を行う際の、操作の流れを示すフロー図である。

【図5】本発明の実施例において、口座振替予定情報をもとにした資金移動要求を行う際の、操作の流れを示すフロー図である。

【図6】本発明の実施例における資金移動要求を行う際に、振込元人を選択する画面の一例を示す図である。

【図7】本発明の実施例における資金移動要求を行う際に、振込元人に対する要求内容の詳細を設定する画面の一例を示す図である。

【図8】本発明の実施例における資金移動設定を行う際に、資金移動要求を確認する画面の一例を示す図である。

【図9】本発明の実施例における資金移動設定を行う際に、資金移動内容の詳細を設定する画面の一例を示す図である。

【図10】本発明の実施例における資金移動設定を行う際に、資金移動要求内容をもとに、実際の移動金額を判断するために参考とする情報を表示する画面の一例を示す

図である。

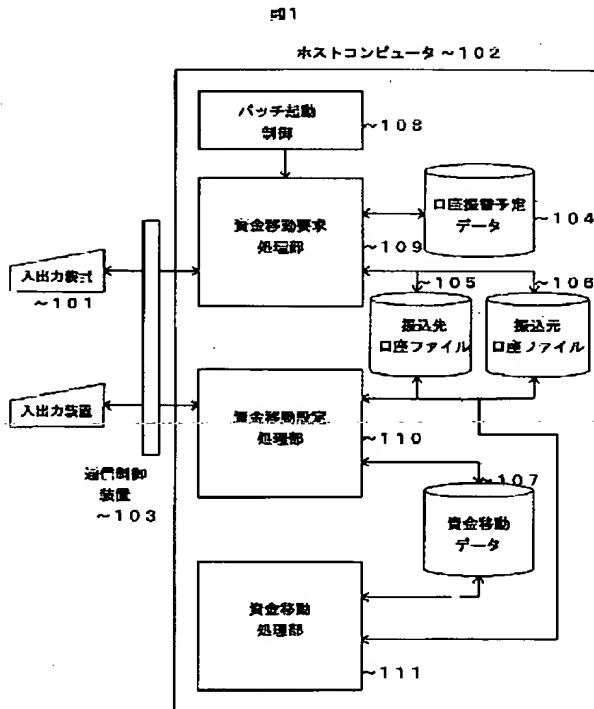
【図11】本発明の実施例において、振込元人から振込先人に対して余剰金を返戻する要求する際の、画面の一例を示す図である。

【図12】本発明の実施例において、上記図11の要求に対する返戻内容を設定する画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

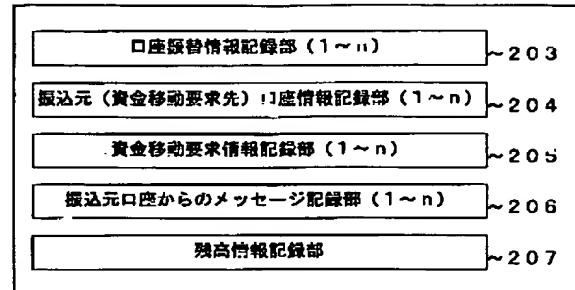
101…入出力装置、102…ホストコンピュータ、103…通信制御装置、104…口座振替予定データファイル、105…振込先口座ファイル、106…振込元口座ファイル、107…資金移動データファイル、108…バッチ起動制御部、109…資金移動要求処理部、110…資金移動設定処理部、111…資金移動処理部。

【図1】

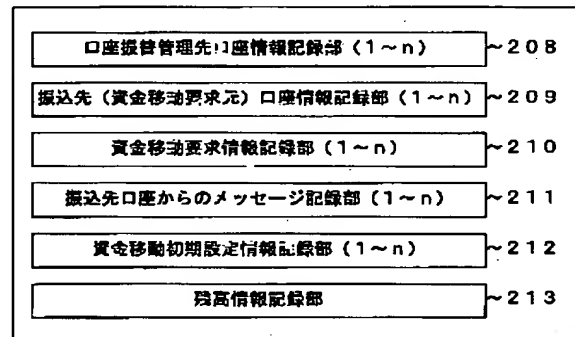


【図2】

振込先口座レコード ~ 201



振込元口座レコード ~ 202



【図6】

図6

資金移動要求設定画面 (1)

振込元人: ○○○○○○	要求金額計: <input type="button" value="選択"/> ~ 802
振込元人: ▲▲▲▲▲▲	要求金額計: <input type="button" value="選択"/>
振込元人: ××××××	要求金額計: <input type="button" value="選択"/>
振込元人: <input type="text"/> ~ 601	要求金額計: <input type="button" value="選択"/>

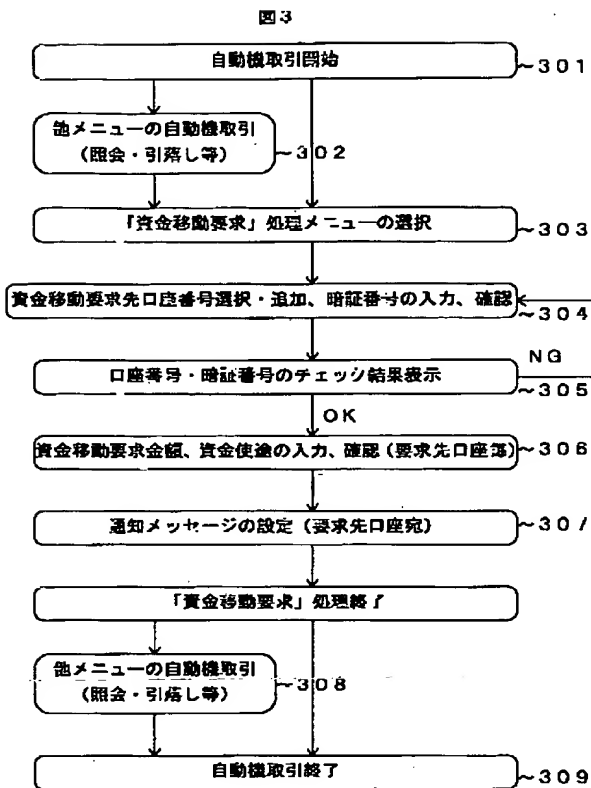
【図8】

図8

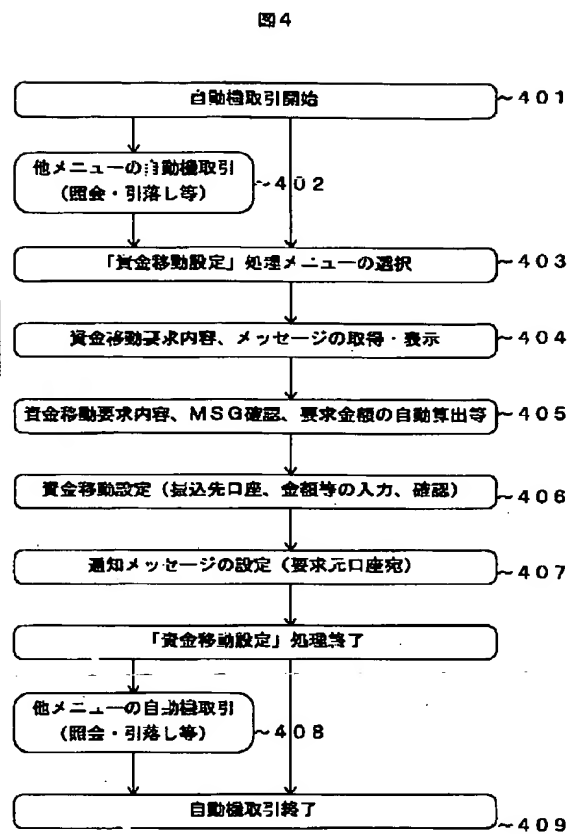
資金移動要求状況画面

振込先人 X:	要求金額計: <input type="button" value="選択"/> ~ 801
振込先人 Y:	要求金額計: <input type="button" value="選択"/>
振込先人 Z:	要求金額計: <input type="button" value="選択"/>

【図3】



【図4】



【図7】

図7

資金移動要求画面(2)

振込元人氏名: _____ 振込希望日: _____

振込元口座: xxx銀行、xxx支店、口座番号: 00000000

項目	資金使途	優先度	振込要求金額
合計			

振込元人への通知メッセージ: _____

確認

【図9】

図9

資金移動設定画面

振込先人氏名: _____ 振込予定日: _____

振込先口座: xxx銀行、xxx支店、口座番号: 00000000

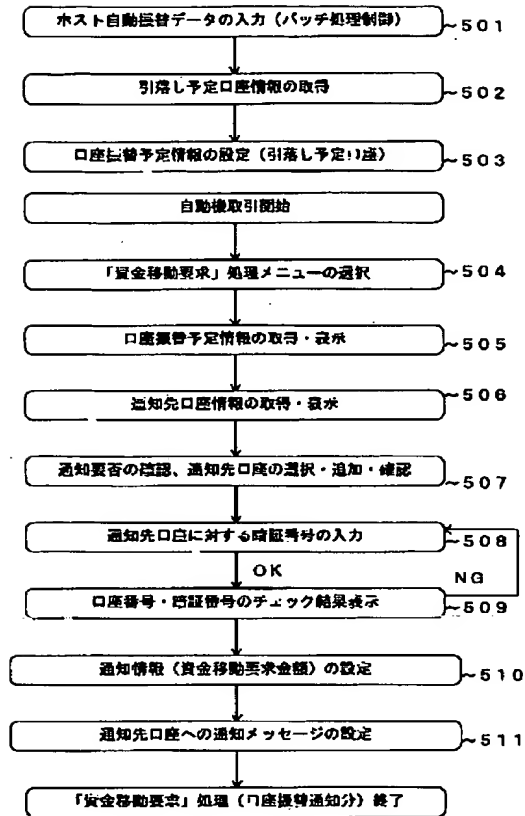
項目	資金使途	優先度	振込要求金額	振込設定金額
合計				

振込先人への通知メッセージ: _____

確認

【図5】

図5



【図11】

図11

返済請求画面	
返済条件:	
(1) 時点:	<input type="text"/> ~1101
(2) 振高:	<input type="text"/> ~1102
(3) 資金移動内容:	<input type="text"/> ~1103
確認	

【図10】

図10

資金移動設定支援画面			
資金使途	優先度	請求金額	振込元人
xxxx	A	5,000	S
xxxx	A	7,500	S
xxxx	A	3,500	T
xxxx	C	50,000	S
xxxx	C	25,000	U

合計金額の算出条件

資金使途:	
優先度:	A
請求金額:	
振込元人:	

各条件の合計金額:

--	--

【図12】

図12

返済内容設定画面	
1. 返済判断	<input type="button" value="返済する"/> <input type="button" value="返済しない"/>
2. 返済内容	<div> (1) 時点: <input type="text"/> </div> <div> (2) 資金移動内容: <input type="text"/> </div> <div> <input type="button" value="確認"/> </div>